

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 家畜伝染病検査体制整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2885)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,113 千円 (前年度予算額：3,360 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,360	1,680	0	0	0	0	0	0	1,680
要求額	4,113	2,056	0	0	0	0	0	0	2,057
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 県の家畜保健衛生所では、各種の家畜疾病の診断を行うために、様々な検査機器を保有しているが、家畜伝染病予防法施行規則の改正に伴い、都道府県における家畜防疫体制の強化が求められており、検査機器の更新や増設が必要となっている。
- ・ 家畜疾病の診断を正確かつ迅速に行い、家畜防疫体制の維持・強化を図るには、検査機器の新規整備や更新を計画的に行っていく必要がある。

(2) 事業内容

- ・ 家畜保健衛生所で使用する検査機器の整備・更新を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県：1/2、国：1/2 (消費・安全対策交付金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	4,113	検査機器の新規整備・更新経費
合計	4,113	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（R1～5）
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2) 安らかに暮らせる地域
 - ④ 災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・新「ぎふ農業・農村基本計画」（R3～7）
 - (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり
 - ④ 家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

家畜伝染病の検査体制の整備により、迅速、正確な診断をし、防疫体制を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

家畜疾病の診断で使用する検査機器を新規整備・更新するものであり、指標を設定することは適当でない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 中央家畜保健衛生所に O2, CO2 インキュベーターを導入した。 機器を導入することで、病性鑑定の高度化及び正確性を図ることができた。
令和3年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	家畜保健衛生所における家畜疾病診断で使用する検査機器の整備・更新を行う事業であり必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	家畜疾病の検査精度が向上し、検査の信頼性の確保につながった。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	最新機器の導入により、正確かつ迅速な検査が可能となっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 家畜伝染病予防法施行規則の改正に伴い、都道府県における家畜防疫体制の強化が求められており、機器の更新や増設が必要となっている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 家畜伝染病の検査体制の維持・強化を図るためには、検査機器の整備・更新が必要であり、計画的に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	<div style="text-align: right;">【〇〇課】</div>
--	---